



図書館に向かっています。ルートの変更については、適宜周知の掲示を行っているほか、工事施工業者と調整し、車両の出入りに伴い配置している警備員にも可能な範囲で案内いただきます。

市長 続いて、報告事項2「令和6年度狛江市総合防災訓練（防災フェア）の実施について」を報告してください。

部長 令和6年度の狛江市総合防災訓練は、令和6年1月に発生した能登半島地震や8月に発生した宮崎県日向灘を震源とする地震、そして南海トラフ地震臨時情報の発表等によって高まっている市民の防災意識を具体的な防災行動につなげるため、関係機関と連携した防災訓練を「防災フェア」として実施し、市民一人ひとりの防災行動力の向上を図ります。日時は「安心で安全なまちづくりの日」に併せて、直近の日曜日となる10月27日午前9時から正午までです。実施場所は東京都水道局との連携推進を目的として、狛江市元和泉三丁目10番先の東京都水道局狛江材料置場用地です。令和6年度は屋外1会場のみの実施とし、避難所運営訓練や災害対策本部訓練は実施しないため、訓練係員は安心安全課職員のみで対応予定です。本訓練は、市民一人ひとりの自助に関する基礎的な知識・経験の習得促進を主な目的とし、避難所運営訓練や防災カレッジ等への参加率が低く、防災に触れる機会が少ないとされる、30・40歳代の子育て世代や「未来の防災の担い手」となる子どもたちをメインターゲットとして実施します。このため、訓練メニューについては、消火訓練や応急給水模擬訓練等の実用的な訓練に加えて、はしご車の乗車体験や自衛隊服を着用した車両乗車体験、災害時に活用するドローンのフライト体験等の市民参加型コンテンツを充実させ、子どもたちの興味関心を惹きつけます。また、家具転倒防止器具や感震ブレーカー等の防災器具の展示や非常用食料等の展示、耐震化PRコーナー等を設置し、各家庭での災害への備えの後押しを行います。参加機関等については、東京都獣医師会や無人航空機（ドローン）に関する災害協定を締結している株式会社エアーズ等、近年、市が主催する訓練に不参加となっていた団体、事業所等にも参加を依頼しました。これにより、参加調整を経て顔の見える関係を構築し、公助の面における災害対応力の強化にもつなげることで態勢の万全化を図っていきます。令和6年度は、6月に実施した総合水防訓練で幅広い市民を対象に防災に関する取組を周知し、9月1日に実施した木原さん・そらジローのイベントでは、若い世代を対象に過去に狛江市で発生した水害を知ってもらい、教訓とすることの大切さを周知しました。本訓練は、年度内最後の大きな訓練となることから、これらのイベントで周知した災害への備えを更に加速させ、具体的な行動によって狛江市の減災につながるよう実施していきます。

市長 続いて、報告事項3「公立学校情報機器整備事業に係る各種計画の策定・公表について」を報告してください。

部長 本件は、令和6年度調達タブレット等を購入し、G I G Aスクール構想を着実に推進するため、当該各種計画を策定・公表しました。本件は、9月19日開催の教育委員会で審議した後、市長が会長を務める総合教育会議へ付議し、承認されています。今回策定した計画は、端末整備・更新計画、ネットワーク整備計画、校務D X計画、1人1台端末の利活用に係る計画の4点です。1点目の端末整備・更新計画では、毎年1,300台程度のタブレット端末を都補助金を活用して整備していく計画としています。当該タブレットは、調達の翌年度に小学校2年生及び6年生に貸与し、4年間利用する想定となります。また、令和2年9月に導入した、いわゆるファーストG I G A端末の処分方法について記載し、教職員端末等への転用を行った上で、損耗が激しいもの等は、小型家電リサイクル法認定事業者への委託による再使用・再資源化を検討します。2点目のネットワーク整備計画では、先ず、国が示す本市の学校の推奨帯域を記載しています。通信速度は、国の推奨帯域には全ての学校において達していませんでした。これを踏まえ、学校での活用場面に応じた通信遅延状況等を確認した上で、通信契約見直しの検討を行うこととしています。3点目の校務D X計画は、主に教員の働き方改革を推進するためにI C Tの有効活用を念頭に策定しています。4点目の1人1台端末の利活用に係る計画では、上段に記載のとおり、特別支援教育を受ける児童生徒の増加等、子どもたちの多様化が進むなかで、児童生徒個々の特性に応じた指導・支援が必要になっている一方、30人程度の児童生徒の指導・支援を基本的に1人の教員で対応することが現行の制度となっており、教員は、I C Tを有効活用し、児童生徒の指導・支援の最大化を図る必要があるとしています。

市長 続いて、報告事項4「令和6年度「狛江市学習状況調査」の結果及び「全国学力・学習状況調査」の結果について」を報告してください。

部長 本報告は、4月11日に実施した「令和6年度狛江市学習状況調査」(以下N R T)及び4月18日に実施した「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果を考察したものとなります。はじめに小学校についてです。N R Tは小学校5年生及び6年生を対象に国語、算数で調査を行いました。全国学力・学習状況調査は小学校6年生を対象に国語、算数で行われました。資料左側の5年生のN R Tの結果を御覧ください。正答率の表のとおり、全ての領域で全国比を上回っています。各教科別で見ると、国語の思考・判断・表現の問題では、考えや感想をもって伝え合うこと、目的に応じて工夫して書くことの正答率は低い結果となりました。算数の知識・技能の問題では、正

答率は高い結果となりましたが、角の大きさ、割り算、表と折れ線グラフ等のデータの活用等の思考・判断・表現に関する問題の正答率は低い結果となっています。次に6年生NRTの結果を御覧ください。正答率の表のとおり、6年生も全ての領域で全国比を上回っています。国語の思考・判断・表現の問題では、読んで考えや感想をまとめ伝え合うこと、情報を選び構成を考えて話すことの正答率は低い結果となっています。算数の知識・技能の問題では、整数と小数の仕組み、二つの数量の関係、立体図形の性質、体積の正答率は高い結果となっています。一方、整数の性質、単位量当たり、速さ、円グラフや帯グラフ等のデータの活用等、思考・判断・表現に関する問題の正答率は低い結果となっています。続いて、資料右側の全国学力・学習状況調査の結果を御覧ください。国語、算数ともに知識・技能に関する問題の正答率は高い結果となりましたが、思考・判断・表現に関する問題の正答率は低い結果となっています。

続いて中学校の結果です。NRTは全学年で国語、数学、英語で調査を行いました。また、全国学力・学習状況調査は中学校3年生が国語、数学で調査が行われました。今回の報告では、資料としてまとめる都合上、3年生のNRTの結果と、3年生の全国学力・学習状況調査の結果について報告します。資料左側の3年生のNRTの結果です。国語の思考・判断・表現に関する問題では、話の内容を捉えること、考えが伝わるよう工夫して書くこと等、正答率が高い結果ではあるものの、感想やまとめを伝え合うこと、要点を捉え内容を解釈する等正答率は低い結果となっています。数学の思考・判断・表現に関する問題でも、三角形の合同、証明、図形の性質の正答率は高い結果があるものの、1次関数、場合の数を基にした確率、連立方程式については、正答率は低い結果でした。英語に関しても、思考・判断・表現に関する問題では、同様の結果となっています。続いて、資料右側、3年生の「全国学力・学習状況調査」の結果です。国語の思考・判断・表現に関する問題の正答率にはバラつきがありました。目的や意図に応じて集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができることの正答率が高い結果となっています。一方、文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することの正答率は低い結果となっています。数学では、知識・技能に関する正答率は高い結果となりましたが、思考・判断・表現に関する正答率は低い結果となりました。調査結果の考察については、資料右側下部に掲載しています。各学校において各調査結果が有効に活用されていくよう、指導訪問や研修会等の機会を活用して指導・助言を継続していきます。

市 長            その他ありますか。

部 長            令和6年9月能登半島大雨災害義援金（石川県）の受付開始に伴う狛江市

内公共施設等への募金箱の設置についてです。日本赤十字社での「令和6年9月能登半島大雨災害義援金（石川県）」について、既に市ホームページへ掲載しており、更に支援を強化するため、狛江市内公共施設等の市内9施設へ募金箱を設置し、公共施設等には、事務連絡にて協力を依頼しました。募金箱の設置期間は、9月26日から令和7年3月31日までの予定です。

市 長 他にありますか。

部 長 社会福祉士養成課程におけるソーシャルワーク実習についてです。福祉相談課では、狛江市男女共同参画推進計画における「地域における人材の確保」の一環として社会福祉士ソーシャルワーク実習生の受入れを行います。杏林大学保健学部健康福祉学科の3年生1人を10月7日から11月20日までの間で、火曜日を除く平日の合計24日間受入れます。受入先は原則福祉相談課となりますが、高齢障がい課、福祉政策課、子ども家庭課、子ども発達支援課にも協力をお願いします。実習生に対しては、職員が日々遂行している業務の一端に触れることで、社会福祉士の役割やソーシャルワークの現場を体感し学んでいただきます。また、職員が実習生の指導を行うことにより、職員自身も成長することを期待していることから、職員が積極的に関わることができるよう、協力をお願いします。個人情報取り扱いや実習中の態度については、大学側でも十分に注意・指導しているところであり、実習指導者もオリエンテーションの際に実習生に対して説明しますが、各職場においても、適宜指導をお願いします。

なお、実習時間は、通常午前8時30分から午後5時までですが、午後5時以降の事業や会議等に参加する場合には午前10時30分から午後7時までとします。また、実習中は実習生と分かる名札を着用します。

市 長 他にありますか。

部 長 長野県茅野市の間伐材を活用したお祝い品贈呈事業についてです。長野県茅野市との「2050年脱炭素社会の実現に関する連携協定」に基づく協働事業の一環として、茅野市の間伐材を活用して木工製品を製作し、両市の婚姻世帯、出産世帯に贈呈する事業を10月1日から開始します。対象は、令和6年4月1日以降に、狛江市役所に婚姻届又は出生届を提出した世帯で、贈呈品は、婚姻世帯には木製のフォトフレーム、出産世帯にはラトルという、いわゆるガラガラ玩具で、どちらも狛江市のデザイナーと茅野市の製作事業者の共同製作によるものです。受渡方法については、フォトフレームは、市民課窓口等への婚姻届の提出時にその場でお渡しし、ラトルは、子ども家庭課で実施する「こんにちはあかちゃん事業」において保健師等が訪問指導を行う際にお渡しします。また、4月1日から9月30日までに各届出を提出した世帯については、事前にロゴフォームで登録していただき、市民課又は

子ども家庭課の窓口でお渡しします。

市長 プレスリリースはいつ行いましたか。

部長 9月27日に茅野市と同時にプレスリリースを行いました。

市長 他にありますか。

部長 市民生活部の部内業務応援制度についてです。課税課における固定資產業務について、令和7年度課税に向け、新築家屋等の評価額の算出を行います。固定資産税係では在職1年未満の職員が多いことから、家屋評価経験者の納税課職員1人が課税課の業務を応援します。期間は10月3日から12月27日までの予定です。

市長 衆議院議員選挙が10月27日に実施される見込みですが、臨時会での対応は困難であるため、選挙にかかる補正予算については専決処分とする予定です。

他になければ、以上で本日の庁議を終了します。次回の庁議は、10月8日午前9時00分から開催します。